

## 診 断

### 【解剖・生理】

#### 到達目標

(a-1)	甲状腺の発生、生理、解剖学的位置、形状および超音波像について説明できる。
(a-2)	小児甲状腺特有の超音波像について説明できる。（コロイド嚢胞 異所性胸腺）
(a-3)	甲状腺周囲の血管、気管、食道、神経、頸長筋、前頸筋、胸鎖乳突筋、リンパ節について説明できる。

### 【手技・手法】

#### 到達目標

(a-4)	甲状腺超音波検査の適切な体位について説明できる。
(a-5)	甲状腺の基本的走査について説明できる。
(a-6)	甲状腺超音波検査を系統的に行うことができる。
(a-7)	甲状腺超音波検査における高周波数超音波機器の特徴について説明できる。
(a-8)	甲状腺カラードプラー法を適切に行うことができる。
(a-9)	甲状腺組織弾性イメージングの種類と実際について説明できる。
(a-10)	甲状腺組織弾性イメージングの手技を行うことができる。

### 【診断】

#### 到達目標

(a-11)	甲状腺結節（腫瘍）超音波診断基準について説明できる。
(a-12)	甲状腺における主たる結節性病変（良性・悪性）とびまん性疾患について説明できる。
(a-13)	甲状腺結節性病変の病態、症候、診断と治療について説明できる。

### 【良性結節性疾患】

#### 到達目標

(a-14)	甲状腺の嚢胞性疾患の超音波像について説明できる。
(a-15)	甲状腺濾胞腺腫の超音波像について説明できる。
(a-16)	多結節性甲状腺腫（腺腫様甲状腺腫）の超音波像について説明できる。

### 【悪性腫瘍】

#### 到達目標

(a-17)	甲状腺癌の組織型分類とそれぞれの超音波像の特徴について説明できる。
(a-18)	甲状腺リンパ腫の超音波像について説明できる。
(a-19)	甲状腺癌の転移リンパ節の超音波像について説明できる。

### 【炎症性甲状腺疾患】

#### 到達目標

(a-20)	橋本病（慢性甲状腺炎）の超音波像について説明できる。
(a-21)	急性化膿性甲状腺炎の超音波像について説明できる。
(a-22)	亜急性甲状腺炎の超音波像について説明できる。

### 【甲状腺機能亢進症】

#### 到達目標

(a-23)	自律性機能性甲状腺結節（AFTN）の超音波像について説明できる。
--------	----------------------------------

### 【甲状腺外の病変】

#### 到達目標

(a-24)	頸部に発生する腫瘍と腫大リンパ節の超音波像について説明できる。
--------	---------------------------------

FNAC：穿刺吸引細胞診、CNB：針生検、LBC：液状化検体細胞診

## 穿 刺

### 到達目標

#### [FNbCの実施]

(b-1)	穿刺目標とすべき所見について説明ができる。
(b-2)	甲状腺結節の超音波画像からFNACの実施の適応を判断できる。
(b-3)	超音波所見以外のFNAC実施基準を説明できる。
(b-4)	FNACの禁忌を説明できる。
(b-5)	結節内の適切な穿刺部位を説明できる。
(b-6)	目標までの適切な穿刺経路を選択できる。
(b-7)	FNACの準備について説明ができる。
(b-8)	超音波ガイド下甲状腺穿刺の穿刺手技（交差法，平行法）について説明できる。
(b-9)	平行法施行時の特殊な超音波機器の設定（穿刺ガイドアタッチメント・ガイドの線）について説明できる。
(b-10)	リンパ節に対するFNACの適応を説明できる。
(b-11)	LBCについて説明できる。
(b-12)	針洗浄標本・LBCの意義を説明できる。
(b-13)	穿刺針内残留物を利用した測定方法の意義を説明できる。

#### [FNbC標本の作成]

(b-14)	適切な検体処理方法について説明できる。
(b-15)	標本作成（乾燥固定，湿性固定，針洗浄）のための物品を説明できる。
(b-16)	乾燥標本の作製ができる。
(b-17)	湿性標本の作製ができる。
(b-18)	血液や嚢胞液が採取された時の具体的処理を説明できる。

#### [FNbC結果の評価]

(b-19)	FNACの診断結果を評価できる。
(b-20)	「検体不適正」，「意義不明」，「濾胞性腫瘍」の結果に対する対応ができる。

#### [CNBの実施]

(b-21)	CNBの適応疾患を説明できる。
(b-22)	CNBの禁忌を説明できる。
(b-23)	CNBの手技を説明できる。
(b-24)	標本作成のための物品を説明できる。

FNAC：穿刺吸引細胞診、CNB：針生検、LBC：液状化検体細胞診

## 医療安全

### 【穿刺後合併症】

#### [穿刺後血腫]

##### 到達目標

(c-1)	穿刺後血腫の重大性を説明できる。
(c-2)	穿刺後血腫の症状を説明できる。
(c-3)	穿刺後血腫に対する対応について説明できる。
(c-4)	穿刺後の圧迫と観察について説明できる

#### [穿刺後腫脹]

##### 到達目標

(c-5)	穿刺後びまん性腫脹の症状を説明できる。
(c-6)	穿刺後びまん性腫脹に対する対応について説明できる。

#### [気胸]

##### 到達目標

(c-7)	気胸の症状を説明できる。
(c-8)	気胸を発症する可能性がある穿刺部位について説明できる。

#### [反回神経麻痺]

##### 到達目標

(c-9)	反回神経の走行を説明できる。
(c-10)	超音波画像上で反回神経走行予測部位を説明できる。
(c-11)	反回神経麻痺の症状を説明できる。
(c-12)	両側反回神経麻痺の重大性について説明できる。

### 【安全確認作業】

##### 到達目標

(c-13)	検査前のインフォームドコンセントの意義について説明できる。
(c-14)	検査前の確認事項（抗凝固剤内服・アルコール禁）について説明できる。

#### [患者誤認対策]

##### 到達目標

(c-15)	患者誤認について説明できる。
(c-16)	患者誤認対策のための照合、指差し確認について説明できる。

#### [穿刺部位誤認対策]

##### 到達目標

(c-17)	穿刺部位誤認について説明できる。
(c-18)	穿刺部位誤認対策のための照合、指差し確認について説明できる。

#### [検体誤認（患者）対策]

##### 到達目標

(c-19)	検体誤認（患者）について説明できる。
(c-20)	検体誤認（患者）対策のための照合、指差し確認について説明できる。

#### [検体誤認（部位）誤認対策]

##### 到達目標

(c-21)	検体誤認（部位）誤認について説明できる。
(c-22)	検体誤認（部位）誤認対策のための照合、指差し確認について説明できる。

#### [検体混入対策]

##### 到達目標

(c-23)	コンタミネーション（検体混入）について説明できる。
(c-24)	コンタミネーション（検体混入）対策について説明できる。